

SANJO



さんじょう どうぐ
三条の道具ってすごい！



三条の道具ってすごい！

三条市は包丁などのものづくりが盛んです。ものを作るための道具もたくさんつくられています。そこで、三条市でつくられる道具にはどのようなものがあるのかを調べました。

三条の道具ってどんなもの？

まちやまでは、三条市でつくられた道具を図書館の本のように貸し出しています。そこで、まちやまの長野さんに話をお聞きしました。

三条市では、包丁だけではなく、玄翁、手鋸、のみ、ペンチなどの多くの道具がつくられています。職人が手作業でつくり、さまざまな工夫をしたりしてつくりています。そのため、品質が良く、国内だけでなく海外でも広く使われています。

その、三条市でつくられた道具の良さを皆さんに知つてもうため、まちやまでは道具を貸し出す「まちやま道具箱」の取り組みをしています。



まちやまを運営する
NPO法人えんがわ代表
長野 源世さん

まちやま道具箱の道具を紹介！



玄翁
木材に釘を打つときに使います。片方の面が丸く膨らんでいて、木材を傷つけにくくなっています。



木材を切断するときに使います。2種類の刃が付いていて、木材を切る向きによって使い分けます。**手鋸**



穴や溝を掘るときに使います。柄の後方を金槌でたたいて掘ります。

他にもたくさん！

三条の道具を使ってDIYを体験してみた！

まちやま道具箱の道具で本棚を作るDIYを体験しました。まちやまでは、道具を使ったものづくり体験ができるワークショップを開催しています。

詳しくは裏面へ

1 手鋸で材料を切る



2 のみで溝を掘る



完成



3 切った材料を組み合わせて、玄翁で釘を打つ



4 電動ドライバーで固定する



聞いて・見て・使って感じた！

三条の道具のここがすごい



簡単に使って仕上がりがきれい



道具は、使いやすさを追求してつくれられているため、使ったことのない道具でもすぐにこつをつかむことができました。また、仕上がりがきれいにできました。



長く使うことができる

道具は、とても丁寧な加工をしてつくれられているため、丈夫で使いやすが長く続くそうです。

みんなも三条の道具を使ってみてね！



外国のものづくりも支えている



三条市でつくられる道具は、アメリカやドイツ、韓国などにも輸出され、とても人気だそうです。三条市の道具が外国のものづくりも支えていると思うとワクワクします。

たいけん ものづくり体験ができるワークショップ

まちやまでは、まちやま道具箱で借りられる道具について学び、その道具でものづくりをするワークショップをしています。12月は鋸とのみがテーマです。詳しくはまちやまのホームページをご覧ください。



まちやまホームページ

うらだて 裏館小学校6年 高波 佳乃



道具をつくるときに職人は使ってもらいやさしいように工夫していることが分かりました。手でとっても細かい作業をしてつくられていると聞いて、三条市の技術の高さを感じました。

かんばやし 上林小学校6年 土田 夢乃



三条の道具を使えば、何でも作れるのがすごいと思いました。鋸は、2枚、3枚と切っていくうちに上手く切れるようになりました。思ったより良い作品ができました。

あおさきがくえん 大崎学園6年 川上 雲子



まちやま道具箱が始まり、たくさんの人が道具を身近に使えるようになったと感じました。初めて使う道具は難しかったけれど、慣れると楽しくなり、また使いたくなりました。

いのきど 一ノ木戸小学校5年 鳥羽 風花



鋸やドライバーは最初は難しかったけれど、繰り返すとうまく使えるようになりました。子どもから大人まで安全に使えるように工夫されていてすごいと思いました。また道具を使いたくなりました。

いのきど 一ノ木戸小学校4年 山上 翼



三条の道具はいろいろな国に輸出されているのがすごいと思いました。道具を使ってみて、思ったより難しかったです。鋸で切ったり、ねじをまっすぐ打つのが大変でした。

かんばやし 上林小学校4年 土田 潤



まちやま道具箱では、貸し出された道具が返却されるとすぐにまた借りられないと聞き、それだけ三条の道具が人気だと感じました。道具を使い、たくさん作業をして、良い作品を作ることができて良かったです。

あおさきがくえん 大崎学園4年 矢島 悠晴



ワークショップで話を聞いて、三条の道具はすごいと思いました。鋸の使い方や玄翁の力の入れ方が難しかったですが、鉋やのみは簡単に使えました。

